

変化を受けとめより良い社会に
地域デジタル化人材育成・確保推進事業

D X はじめの一步

事例に学ぶデジタル化の効果

IT経営マガジン「COMPASS」
石原由美子

講演資料の一部を事前配布します。
内容は変更になる場合があります。

自己紹介

<目指すもの>



ITに翻弄されず
賢く使いこなす！

- ・ ITを経営に賢く活かすお手伝い
「ITが大好きじゃない人」こそ、
使いこなすための情報が必要！
- ・ 経営目線で、わかりやすく伝える！
- ・ 全国の支援機関・支援者と連携

<業務例>

- ★雑誌「COMPASS」の発行、書籍の発行
- ★事例集・コンテンツ制作、セミナー・研修講師など
- ★自治体・支援機関のDX推進事業サポート

copyright IT経営マガジン「COMPASS」

IT経営マガジン 「COMPASS」

中小企業・支援機関を対象に
年4回発行の無料誌 & ONLINE
20年近く発行しています。

電子ブック版も公開中
<https://www.compass-it.jp/>



「変わる」を学ぶ書
『中小企業社長の実践ガイド
激動の時代、会社をどう変えて
いくか』

中小企業・社長の
実践ガイド
出典：経営者・田中渉
DX時代、生き残るためには
「変える力」が必要
「儲けのしくみ」構築・支援に
力を注いできた著者が、
今、中小企業経営者に
伝えたいこと

激動の時代、
会社をどう
変えていくか

新刊

リックテレコム

本日の内容

- (1) 社会の変化とDX（ディーエックス）
概念の意味するところをつかむ
- (2) 進化したITの特徴を知っておく
- (3) デジタル化のポイントを事例から学ぶ
- (4) 小さくても一歩を踏み出すことが成功への道

(1) 社会の変化とDX 概念の意味するところをつかむ

現状を整理

働き方改革関連法、
電子帳簿保存法改正、
インボイスなど制度変更

人口減少という
未体験社会

携帯電話の一般普及から、
30年に満たない

アジア諸国の
経済的成長

猛スピードで
加速する
デジタル化社会

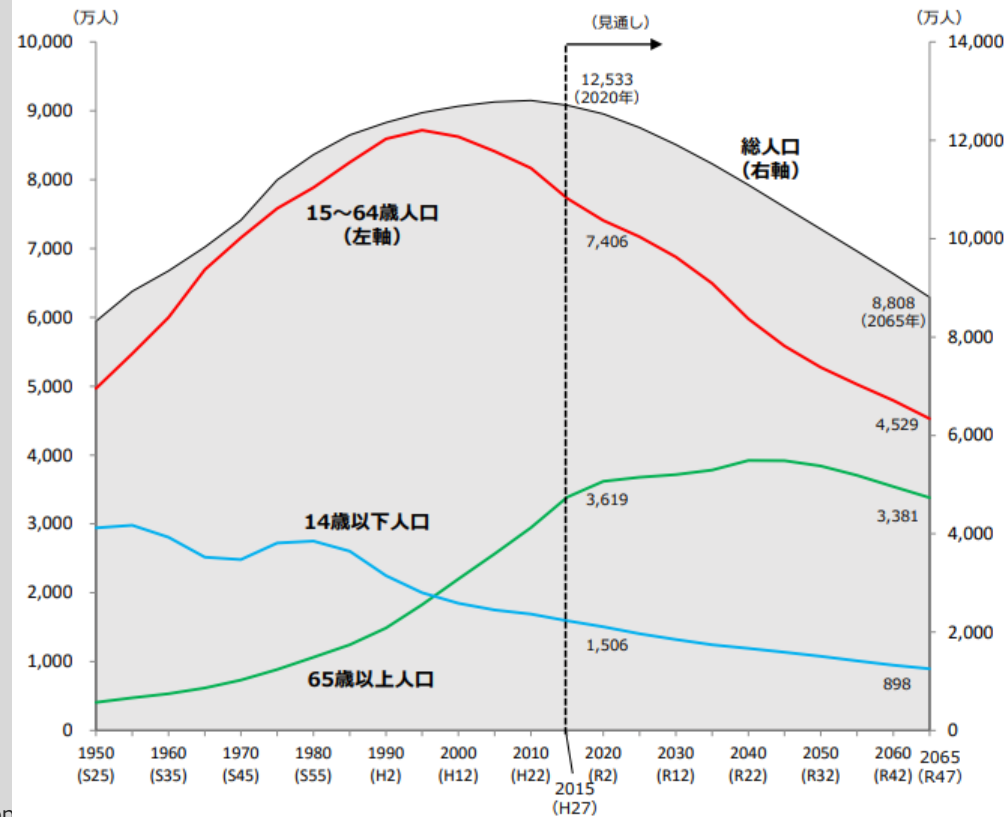


これまでの「常識」、 「成功体験」 が通じなくなり、社会が転換している

人口が減れば、お客さんも働き手も減る

人口減少と少子高齢化

- 生産年齢人口（15-64歳）は2065年に約4,500万人となる見通し（2020年と比べ約2,900万人の減少）。
- 2065年には、老年人口（65歳以上）の割合が約4割に高まる一方、生産年齢人口の割合は約5割に低下する見通し。



生産年齢人口（15-64歳）（万人）

	人数	2020年との差
2020年	7,406	—
2030年	6,875	▲531
2040年	5,978	▲1,428
2050年	5,276	▲2,130
2060年	4,793	▲2,613
2065年	4,529	▲2,877

年齢区分別人口数の割合（%）

	14歳以下	15-64歳	65歳以上
2020年	12.0	59.1	28.9
2030年	11.1	57.7	31.2
2040年	10.8	53.9	35.3
2050年	10.6	51.8	37.7
2060年	10.2	51.6	38.1
2065年	10.2	51.4	38.4

経営のポイントも
当然変わる

内閣府資料より

人を増やして売上増やす→限られた人で利益を増やす

「生産性を高めよう」 短い労働時間で高い利益

＊統計上の「生産性」は「労働生産性」を指します

$$\text{労働生産性} = \frac{\text{付加価値}}{\text{労働量 (労働者数、労働時間)}}$$

付加価値 = 売上 - 外部購入費 (簡易)

※国レベルの労働生産性を測定する際にはGDPを使用



ここに寄与するのが、
デジタル化

最近はこちらでDXと言われます。

DX = デジタルトランスフォーメーション
Digital Transformation

デジタルをうまく使って

ITを入れれば、何かすごいことが起きるのか？
問われているのは実は…

<VUCA>

Volatility : 変動性

Uncertainty : 不確実性

Complexity : 複雑性

Ambiguity : 曖昧性

すでに行っているIT活用やデジタル化と何が違う？

「顧客価値」と「人の役割」に注目

顧客からみた
付加価値・
利便性

進化したITツール活用で
業務間のデータをつなぐ
業務効率向上、売上増

デジタル
トランスフォー
メーション

手書きを
デジタル化

デジタイ
ゼーション

デジタルイ
ゼーション

重要

人の役割の変化

デジタルで社会に変化が起きている例①

●ご存知ですか？ スマホからタクシーを指定場所まで呼べて
着いたらすぐ降りられるタクシーアプリ「GO」



アプリの地図で自宅等を指定すると何分後に到着するか、今どこを走っているかもわかる

乗車して「Go Pay」をタッチすると、降車時に支払い不要（クレジットカード引き落とし）

デジタルで社会に変化が起きている例②

- 伊那市が、自律飛行できるドローン物流で
中山間地の買物支援の幅を拡大

技術的にはドローンやLTE/4G、システムだけど、
普及のキーポイントは……………？？？



イメージ共有) 企業規模は関係ないDXの世界の例 醤油製造会社がうどん店支援サービスに

投影資料で
説明します

<香川県 京兼醸造>

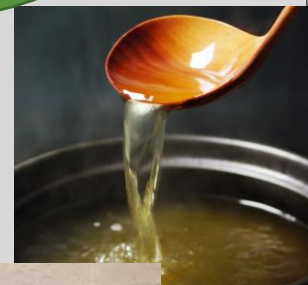
醤油製造

- さぬきうどんブームでお土産用うどんつゆ
- 全国各地にうどん店ができる。 さあどうする？

1社ごとの店舗コンセプトにあわせて

うどんだし&つゆを提供し店舗を支援するビジネスへ

- BtoBとはいえ、相手は個店
- ・細かいニーズに対応するビジネスは成り立つのか？



京兼慎太郎 社長

(2) 進化したITの特徴を知っておく

- 私たちが使えるIT、現在の特徴

クラウド&モバイル

業種・業務に精通

データ連携

徹底自動化
(IoT,RPA)

知・技を活かす
乗り越える (AI)

クラウド・モバイル・API連携

●スマホ・タブレットとクラウドが中小企業のIT活用機会を増やした

クラウド

- ソフトウェアを持たずに利用する
- 多数の企業が利用するこなれたソフトを使える
- ネットがあれば場所を問わず使える
- **初期コストがおさえられる**
(月額等、利用料金制が多い)
- サーバー運用管理が不要に

インターネット上の
「クラウド」にいろいろ装備



タブレット・スマートフォン

- 現場で情報を使える
- 現場からすぐ情報をアップできる
- 画像・映像が使える
- 指で操作できる

● ツール間のデータ連携（API連携） **できれば連動を**

販売・仕入

→ 会計

勤怠

→ 給与

参考) 手作業を代替するー最新のIT

IoT
(Internet of Things)

モノがネットにつながり自動的にデータを集めたり条件に応じた動作をしたり。
「現地に行かなくても…できる」



RPA
(Robotic Process Automation)

パソコンで操作している定型作業をコンピュータ上のロボットに任せて自動化する

AI
(Artificial Intelligence)

人工知能。すべてを指示・条件設定されなくても、データから学習し、識別、判断や予測を行う
①データ分析・予測 ②人の感覚器の判断を学ぶ

VR・AR
(Virtual Reality、Augmented Reality)

・リアリティを高めた視覚映像。歩くと部屋の中に入っていくなど。 [フジタ](#) (富山県)
・現実にバーチャル情報を加える。「ポケモンGo」故障個所を移すと対応情報が出るなど。 [クボタ](#)

ユニークなツールも続々

①専門技術者レベルの判断も遠隔で

スマートグラス「Infolinker3」 (ハードウェア)

②AIを小さく始める

クラウド型AI外観検査サービス「CLAVI」

(COMPASS2022年夏号掲載のためご紹介可能です)

8月2日にセミナーあり

③倉庫内の扉の開閉、温度管理などをトータルでIoT管理

IoTマルチモニタリングシステム「KOSMOS (コスモス)」



DXにはそれぞれタイミングがある しかし、デジタル化・ITツール活用は待ったなし！

デジタル化は こんなことに 役立ちます という例

* WebやSNSのお話はのぞきます

選ばれる会社に。働きやすさ向上

- 業務のデジタル化、業務効率を上げる下記の体制、勤怠管理、テレワーク（対応）等

「できる人」が不在でも休んでもしっかり仕事が回る

- 情報共有、業務管理、顧客管理、販売管理、図面管理等

利益がでているかどうか、数字で適宜把握できる

- POS、販売管理、仕入管理、在庫管理、原価管理、生産管理、データ統合システム等

お客様を理解してリピートアップ策・売上アップ策がとれる

- 顧客管理 & CRM、営業支援、受発注管理、売上管理 等

「なんかいつも忙しい」→「余裕をもって先のことを考える」

- 会計等基幹業務系、データ連携やRPA・IoT・AIなどによる自動化、業界特化ツール 等

(3) デジタル化のポイントを事例から学ぶ

1. (仕事の様子をデータで見える化) 工事实績を日々自動記録して活用

宮城県 石巻市 丸本組

—発展) 情報共有、その先の意義

2. (環境変化への対応) コロナ禍で力を発揮した基幹業務の連動

沖縄県石垣島 陶器製造販売 石垣焼窯元

—発展) POSレジや業種特化ツールの活用意義

3. (スキルと生産計画) 多品種少量生産で利益を上げる

宮城県 製造業 プラスエンジニアリング

—発展) インボイス時代、取引先とのEDIを進めよう

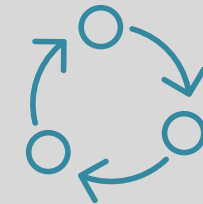
投影資料で
説明します
当日事例を変更する
ことがあります

今日の事例からわかること



デジタル化社会では様々な現象を
[] 改革を進められる

業務間のデータがつながる&自動化すると、
[] が変わる



時代に即した適切なIT導入は、
[] にもつながる

(4) 小さくても一歩を踏み出しましょう

企業規模によらず、自在に動ける良い時代になりました！



- トライして失敗してさらに取り組んだ会社が評価される
→気になるITツールがあれば、試してみるのが吉
- ITが得意かどうかより、マインドが勝負—変化を受けとめ行動を起こせるか
→困っていること・やってみたいことは「話してみる」のが吉
- テクノロジーやIT企業のサービスは手段でしかない。
発想、企画、経営課題の顕在化は現場、つまり「人」から生まれる。
「うちの業界はこうだから…」と思い込まず、いろいろな人と接し、機会を創ろう
- 支援策は上手に活用しよう。タイミング・条件があれば補助金活用も

ITに特化したIT導入補助金

ソフトウェア費・クラウド利用料（最大1年分補助）・導入関連費等を
一定額まで1/2補助

通常枠

	通常枠	
種類	A類型	B類型
補助額	30万～150万円未満	150万～450万円以下
補助率	1/2以内	
プロセス数※1	1以上	4以上
ITツール要件（目的）	類型ごとのプロセス要件を満たすものであり、労働生産性の向上に資するITツールであること。	
賃上げ目標	加点	必須
補助対象	ソフトウェア費・クラウド利用料（最大1年分補助）・導入関連費等	

※1：「プロセス」とは、業務工程や業務種別のことです。

インボイス対応分野は補助率アップ (デジタル化基盤導入累計)

デジタル化基盤導入類型

種類	デジタル化基盤導入類型	
補助額	ITツール	
	5万円～350万円	
	内、5万円～50万円以下部分	内、50万円超～350万円部分
機能要件 ※1	会計・受発注・決済・ECのうち1機能以上	会計・受発注・決済・ECのうち2機能以上
補助率	3/4以内	2/3以内
対象ソフトウェア	会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、ECソフト	
賃上げ目標	なし	
補助対象	ソフトウェア購入費・クラウド利用費（最大2年分補助）・導入関連費等	

※ 1：該当する機能の詳細はITツール登録要領を参照

+

ハードウェア購入費	PC・タブレット・プリンター・スキャナー及びそれらの複合機器：補助率1/2以内、補助上限額10万円
	レジ・券売機等：補助率1/2以内、補助上限額20万円

COMPASSでは、
デジタル経営推進に必要な
学習コンテンツも提供します



ルールが変わる今は、チャンスです。

社会環境の変化を味方につけ、

便利な道具を力にして、

しっかり稼ぎ、孫の世代も元気に暮らせるよう

地域を活性化していきましょう

一緒に前へ！

すべての意欲ある企業のために

<https://www.compass-it.jp/>

IT経営マガジン「COMPASS」